

○ 水上市長が目指す市政運営について

新風会・公明代表  
吉田清隆 議員



その他の質問

- ・今冬の大雪について
- ・令和3年度当初予算と予算の早期執行について

**問** 水上市長は、市長選挙に出馬表明されてから、「新しい勝山」「安全・安心な勝山」のキャッチフレーズを基に運動され、当選されてから目指したいことは沢山あると思うが、まずは新型コロナウイルス対策が最優先かと思う。

**答** 山岸前市長が20年間築かれた市政の継続と、20年間の時の流れで時代は動いているので、修正等は余儀なくされると思う。少子高齢化、人口減少対策、観光の産業化、長尾山、産業団地の整備、農林業の衰退の歯止め、中学校再編計画等、課題は多々あると思う。改めて、議会の席上で水上市長が目指す今後の市政に対する抱負を伺う。

**問** 社会の変化に対応できる安全安心な「新しい勝山市」を市民の皆様と共に創り上げていくという使命感を持って、市政運営に精励していく。

**答** これまで勝山市は、時代の変化に対応したさまざまな政策を推進し、成果を上げてきた。私もこの伝統を引き継いでいきたい。

情報処理技術の急速な発展や新型コロナウイルスの感染症拡大の影響、高速交通網の整備など、社会全体の大きな転換期において勝山市の魅力を持続・向上するためには、市民の皆様のためには、市民の皆様も、長期的な社会の変化を見据えた未来志向のまちづくりを進めていくことが重要であると考えている。

私の市政運営の最重要課題である市民の安全安心のため、現在直面している新型コロナウイルス感染症対策や大雪対策を最優先に取り組んでいく。

○ 教育監の設置と中学校の再編について  
○ 地域社会のデジタル化について

市議会代表  
帰山寿憲 議員



その他の質問

- ・新年度予算について
- ・新たな観光ステージについて

**問** 勝山市の中学校再編案である新中学校の勝山高校との併設隣接案に対し、県は前向きな見解を示し施設の中高共同利用について言及したが、勝山市の今後の具体的内容、方向性を伺う。また、教育監の役割を伺う。

**答** 県教委と中高的の併設・連携の効果・必要性などについて協議を重ねてきたが、より具体的な協議を進める次のステージに入る。

ハード面では、新中学校の校舎の建設位置について、両校のスムーズな交流を図るためにベストな場所を検討する。

ソフト面では、中高の教員の兼務体制による授業の持ち方や部活動指導、高校体育館とグラウンドの共用の仕方、学校行事などの合同実施方法等々について、連携効果が十二分に発揮できるようなシステムを構築していきたい。

また、施設整備に当たって、理科室や音楽室、図書室などの特別教室を共同利用することは、中学生の

体感の醸成と施設整備費縮減の両面からぜひ実現したい。

教育監には、中高連携に関する様々な業務を進めて行く上で、教育長の下で軸となる専任職員として活動していただくよう考えている。

**問** 勝山市の自治体アプリを開発してはどうか。防災、広報、イベント、観光案内を含め、健康診断やコロナウイルスのワクチン接種の通知にも使用できる。

**答** 新たに設置するITアドバイザーと協議していくが、当面、スマートフォンアプリによる情報発信は、定着しているLINEを活用したい。

当面は、ワクチン接種に活用し、段階的に防災、広報、各種申請、施設予約など、すでに他自治体で備えている機能を追加していく。観光向けアプリについても、今後研究していく。